

津波避難のための津波浸水予測図作成の考え方

資料1-1

○これまでの津波浸水予測図

- ・千葉県に大きな被害を与えた延宝地震(1677), 元禄地震(1703)が再来した場合の津波浸水予測図をH18に作成、公表。
- ・延宝地震は、マグニチュード8.0(中防モデル)→千葉県、茨城県の古文書記録に合わせてM8.3に修正して計算。
- ・元禄地震は、マグニチュード8.2(松田ほか)を千葉県の古文書記録に合わせて計算。

○今回の津波浸水予測図の対象地震・津波

- ・新たに公表された元禄地震モデル(行谷ほか)により、計算。
- ・新たな気象庁の津波警報レベルに合わせた浸水予測図の作成。



東北地方太平洋沖地震の津波予報(気象庁)

	九十九里 外房	内房	東京湾内 湾
3/11 14:49	2m	0.5m	—
15:14	3m	1m	0.5m
15:30	10m以上	2m	1m
16:08	10m以上	4m	2m

東北地方太平洋沖地震の津波高(気象庁・県)

津波高 (痕跡高)	2.3m 銚子 (7.6m: 旭市)	1.4m 館山	0.7m 千葉 2.8m 木更津
--------------	-----------------------------	------------	---------------------------

○過去に実施した津波浸水予測結果(主な地点の津波高)

予報区	場所	過去に発生した津波の浸水予測結果(H18)	
		津波高(元禄)	津波高(延宝)
① 九十九里外房	銚子市(君ヶ浜)	7.0m	8.4m
	九十九里町	5.6m	4.0m
	南房総市(千倉揚島)	6.6m	3.7m
② 内房	南房総市(白浜砂取)	8.3m	3.0m
	館山市(船形)	4.4m	—
	富津市(船端)	4.2m	—
③ 内湾	過去に県では浸水予測はしていない		

○気象庁津波警報区分
パターンと作成津波高

気象庁津波警報区分パターン		
10m	5m	3m
約7m～ 10m程度	約3m～ 5m程度	約1m～ 3m
約7m～ 10m程度	約3m～ 5m程度	約1m～ 3m程度
(東京湾口付近で約10mの津波検証)		

○新たな気象庁の津波警報区分(案)

警報・注意報の分類	津波の高さ予想区分	数値による表現	定性的表現
津波警報(大津波)	10m以上	10m以上	巨大
	5m～10m	10m	
	3m～5m	5m	
津波警報(津波)	1m～3m	3m	大きい
津波注意報	20cm～1m	1m	大きいおそれ

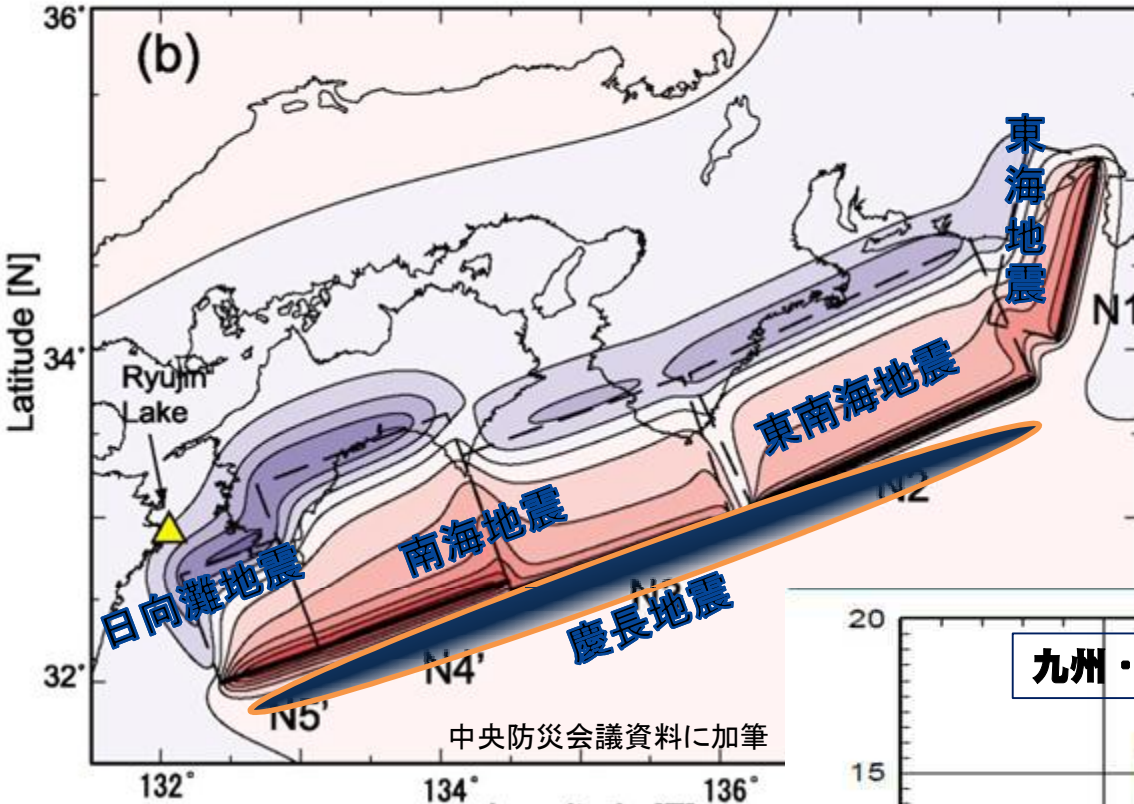
★作成する津波避難のための津波浸水予測図

1. 新たな元禄地震モデルの津波浸水予測図。
2. 海岸での津波高約3m(1～3m)、5m(3～5m)、10m(7～10m)の津波浸水予測図
(千葉県九十九里外房、千葉県内房)。
3. 東京湾口(房総半島南端)での津波高約10mの津波浸水予測図(東京湾内湾)

南海トラフ沿いの津波 (震源域と津波高： 中央防災会議)

国では、最大5連動地震を想定
(東海地震+東南海地震+
南海地震+慶長地震+
日向灘地震)

中央防災会議資料に加筆

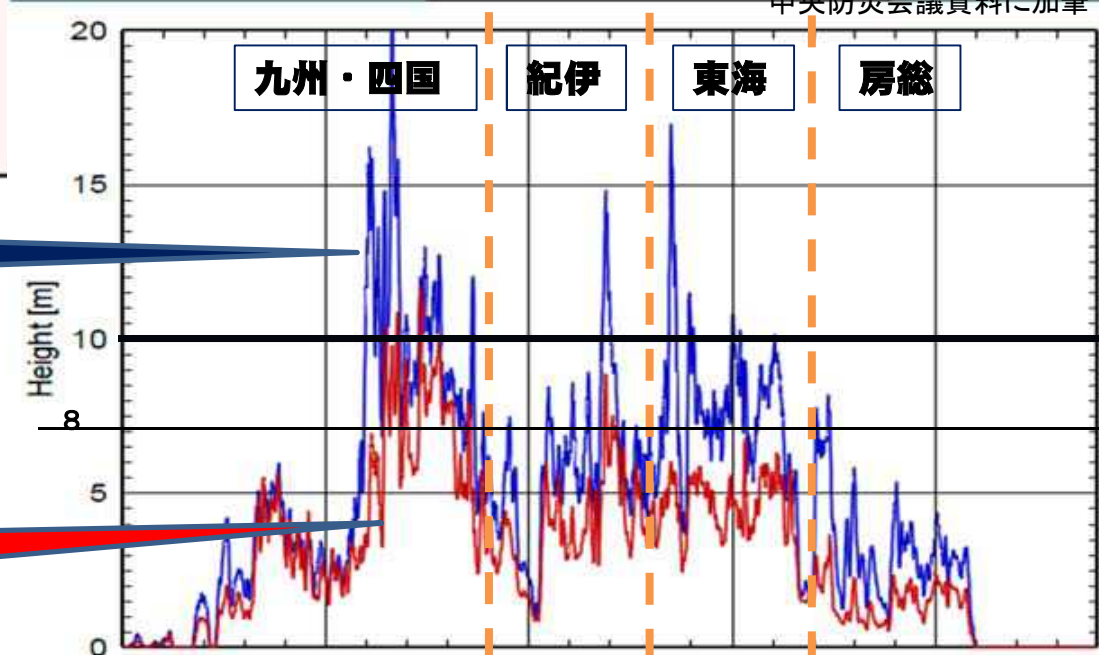


中央防災会議資料に加筆

宝永+慶長

宝永地震(1707): M8.6
東海地震+東南海地震+南海地震
慶長地震(1605): M7.9 津波地震

宝永地震



宝永地震+慶長地震と宝永地震による太平洋岸の津波高